◆◆◆メールマガジン「事業用自動車安全通信」第479号（H30.11.16）◆◆◆

＝はじめに＝
このメールマガジンは、国土交通省において収集した事業用自動車に関する事故情報等のうち重大なものについて、皆様に情報提供することにより、その内容を他山の石として各運送事業者における事故防止の取り組みに活用していただくことを目的として配信しています。
また、自動車運送事業等における安全・安心確保に関する最近の情報等についてもトピックとして提供していますので、ご活用ください。

＝目　次＝
1.重大事故等情報＝5件（11月9日～11月15日分）
(1)乗合バスの車内事故
(2)法人タクシーの死傷事故①
(3)法人タクシーの死傷事故②
(4)法人タクシーの死傷事故③
(5)トラックの酒気帯び事故
2.トピック
(1)トラックドライバーの長時間労働改善等のガイドラインをまとめました「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」を公表（新着情報）
(2) バス運転者の意識消失による事故の発生を踏まえた健康管理の再徹底について
(3)大型車の車輪脱落事故が増加！特に左後輪に注意!～平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて～

◇◇◇

現場は、信号機のある見通しの良い片側2車線の交差点で、歩行者側が赤信号であった模様。

(3)法人タクシーの死傷事故②
11月10日（土）午後11時00分頃、宮城県の市道交差点において、同県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、路上横臥者をはねた。
この事故により、路上横臥者が死亡した。
現場は、信号機のない見通しの良い交差点。

(4)法人タクシーの死傷事故③
11月13日（火）午前1時55分頃、千葉県の県道において、同県に営業所を置く法人タクシーが空車で走行中、路上に立っていた歩行者をはねた。
この事故により、歩行者が死亡した。
現場は、見通しの良い片側１車線の直線道路。

(5)トラックの酒気帯び事故
11月9日（金）午前11時30分頃、愛知県の事業所の敷地内において、徳島県に営業所を置くトラックが運行中、車両を後退させた際に設置されていたポールに接触した。
この事故による負傷者はなし。
事故後の警察による調べにおいて、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出された模様。

---

上記5件の死傷者数計：死亡3名、重傷1名、軽傷0名（速報値）

---

◇◇◇

か年度にわたり実施し、今般、その成果を「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」として取りまとめました。
国土交通省及び厚生労働省では、関係省庁と連携し、今後、ガイドラインの横展開を図り、トラック運送事業における取引環境と長時間労働の改善に向けて取り組んでいきます。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。
→　http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000160.html

---

(2)バス運転者の意識消失による事故の発生を踏まえた健康管理の再徹底について
（配信日：H30.11.2）

10月28日、神奈川県横浜市の国道を走行中のバスの運転者が意識を失ったことにより高架橋の立柱及び乗用車に衝突し、乗客が死傷する事故が発生しました。
また、11月1日にも、千葉県成田市の県道を走行中のバスの運転者が心筋梗塞のため意識を失ったことにより信号機などに衝突する事故が発生し、運転者が死亡しました。
これらの事故の原因については調査中ですが、事業用自動車の運転者の意識消失による事故については、本年6月にも同種の事故が発生したことを踏まえ、「健康起因事故の防止に向けた健康管理の実施について」（平成30年6月8日付、国自安第35号）により、健康起因事故防止のための取組を徹底するようお願いしたところです。
今般、このような事故により乗客及び運転者が死傷するという事態が生じたことを踏まえ、自動車運送事業者におかれましては、この機会に改めて「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」（平成22年策定、平成26年改訂）等による運転者に対する健康管理を、運転者毎の状況に応じて適切に行っていただくようお願いいたします。

※健康管理マニュアル等については、下記リンク先をご覧ください。
→　http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03manual/index.html

---

(3)大型車の車輪脱落事故が増加！特に左後輪に注意!～平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて～
（配信日：H30.10.19）

平成29年度のホイール･ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故発生件数は67件（うち人身事故2件）で、前年度に比べ11件増加し、近年、同事故の発生件数は増加傾向にあります。

これから冬用タイヤの交換作業を迎えることから、タイヤ交換時の適正な作業の実施、一定距離走行後の増し締めなど、確実なチェックが重要です。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。
→　http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000202.html

◇◇◇

◆◆◆